

令和元年 7 月 25 日

愛知県知事 大村 秀章 殿

法人所在地 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地

法人名 学校法人 中西学園  
(代表者職氏名) 理事長 中西 克彦 印

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	名古屋ファッション専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u> )
大学等の所在地	名古屋市中区新栄 1 丁目 9 番 6 号
学長又は校長の氏名	校長 佐藤 弥生
設置者の名称	学校法人中西学園
設置者の主たる事務所の所在地	愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地
設置者の代表者の氏名	理事長 中西 克彦
申請書を公表する予定のホームページアドレス	URL://www.fashion.nsc.ac.jp/

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	佐藤弥生	052-241-7381	lgc-y@nsc.ac.jp
第2号の1	佐藤弥生	052-241-7381	lgc-y@nsc.ac.jp
第2号の2	佐藤弥生	052-241-7381	lgc-y@nsc.ac.jp
第2号の3	佐藤弥生	052-241-7381	lgc-y@nsc.ac.jp
第2号の4	佐藤弥生	052-241-7381	lgc-y@nsc.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点(☑)を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	名古屋ファッション専門学校
設置者名	学校法人中西学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	11,881,606,01円	10,911,566,420円	970,039,596円
申請2年度前の決算	11,865,802,23円	10,848,978,963円	1,016,823,275円
申請3年度前の決算	11,802,358,48円	10,694,690,903円	1,107,667,581円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	34,705,448,002円	2,878,274,863円	31,827,173,139円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	340人	209人	61%
前年度	340人	217人	63%
前々年度	370人	201人	54%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
—	—	—円
—	—	—円
—	—	—円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
—	—	—円
—	—	—円
—	—	—円

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾・家政 専門課程	ファッション マスター科	夜・通信	24 単位	9 単位	
	ファッション 造形科	夜・通信	12 単位	6 単位	
	ファッション 流通科 (スタイリスト コース)	夜・通信	12 単位	6 単位	
	ファッション 流通科 (ファッション ビジネスコース)	夜・通信	12 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ <a href="http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/">http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋ファッション専門学校
設置者名	学校法人 中西学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページ <https://www.nakanishi.ac.jp/outline/officer.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	民間企業 経理部長(前) 民間企業 副社長 (前)	2016年 4月1日～ 2020年3 月31日	財務担当 財務管理をはじめとする企業経営の中核での経験が豊富なため、本学園の安定的な運営への助言・指導を求める。
非常勤	財団法人 理事長 (前)	2017年 6月1日～ 2021年5 月31日	教育・研究担当 公的機関における統括部門の経験が豊富で、特に諸外国との文化交流に精通しており、本学園の教育研究におけるグローバル化への助言・指導を求める。
非常勤	学校法人 理事長特別補佐 (現)	2018年 4月1日～ 2020年3 月31日	管理運営担当 公的機関、学校法人における統括部門の経験が豊富で、私学行政、人事労務管理に精通しており、職員に対するSDをはじめとする人材教育等「質保証」への助言・指導を求める。

非常勤	私立大学学部長（現）	2018年 4月1日～ 2022年3 月31日	<p>管理運営担当</p> <p>公的機関、学校法人における統括部門経験が豊富で、特に教育行政、学校経営の専門家として、また現職において教育研究分野の統括責任者として活躍しており、本学園の経営面をはじめとする管理運営への助言・指導を求める。</p>
非常勤	公的医療機関の長（現）	2019年 6月1日 ～2020年 3月31日	<p>教育・研究担当</p> <p>本学園との連携を強化している公的医療機関の長という立場から、大学の教育の高度化、研究の向上に向けた大所高所からの助言・指導を求める。</p>
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋ファッション専門学校
設置者名	学校法人中西学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスは本校の教育目標に沿って、それぞれの学科にあわせたファッション関連の知識、技術の習得を目的として、以下のような内容、作成過程で作成、公表している。</p> <p>&lt;シラバスの掲載内容&gt;</p> <p>開講時期・単位数、履修年次及び学科、授業担当、&lt;到達目標&gt;、&lt;授業方法&gt; (開講評に記載)、&lt;成績評価の方法と基準&gt;、&lt;授業時間外に必要な学習の具体的内容・履修に当たっての留意点&gt;、&lt;授業計画&gt; (1 回ごとの授業内容) となっている。</p> <p>&lt;シラバスの作成・公表&gt;</p> <p>シラバスの内容は毎年見直しすることにしており、例年 12 月に各授業担当者が原案を作成、職員会議においてシラバスチェックを含み、協議したのち決定され、3 月の中旬までに授業計画 (シラバス) を冊子とするとともに、新年度に向けて本校 Web サイトにて公開している。</p> <p>&lt;実践的な教育課程の構築&gt;</p> <p>アパレル業界等の社会的要求に応じた人材育成ができるよう、教育課程の自己点検評価を行っている。取り分け企業での実務経験を有する教員、講師による授業を多く組み入れ、企業の現状を踏まえた最先端の授業を行えるよう努めている。</p> <p>&lt;教育課程の編成&gt;</p> <p>1 年次では授業の約 7 割を共通専門科目として編成し、服飾、更にファッション全体の基礎を学ぶ。更にコースごとに設定された科目において、その特性を活かした専門的な授業を配置し、それぞれの分野固有の知識、技術を修得する。</p> <p>2 年次以降では専門的な科目を配置すると同時に、1 年次から継続して就職決定への意欲、意識の高揚及び人間性の涵養を促すような科目群がカリキュラムデザインされている。</p> <p>授業の方法としては、演習、実習に重きをおき、加えて学外で開催されるファッションコンテストへの参加、地域貢献行事への協力、学外研修旅行、インターンシップなどを通じて社会性、協調性を身に付けていく。また、専門性の高い資格を取得するため実技科目を受講することにより、より効率的に資格を取得し、学生個々の個性を企業に P R できるように考えられている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページ</p> <p><a href="http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/">http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/</a></p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績は、試験（前期末、後期末）、平常成績（課題作品、実技の評価）、授業態度（授業課題提出状況など）を加味した、総合的な評価として、適正な評価に努めている。各教科の成績評価は、その方法と基準をシラバスで明示し、その記載された割合で合計、点数化し、0 から 100 点とする以下の 4 段階評価としている。</p> <p>100～85 点=A、84～65 点=B、64～50 点=C、49～0 点=D  *D は不認定となり単位を取得できない</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各教科の通年の成績評価を総合し、個人の総合評価を算出している。成績評価の具体的な方法については、学生に配布する学生便覧、シラバスと本校 Web サイトにて公開している。</p> <p>算出方法は各教科の成績評価を A=5 点、B=3 点、C=1 点、D=0 点とし、それらを合算し、受講した教科の総数で割って平均値を出す。平均値の値が 4.0 を超えると A、2.0 を超えると B、2.0 以下を C とし、総合評価としている。</p> <p>また、年間の取得単位数が本校の定める単位数に満たない場合は総合評価 D となり、修了が認められず、進級、卒業が不可となる。各教科の一年または半期ごとの成績、各教科の出席時数、通年の出席時数、総合評価が、授業科目成績通知書ならびに成績証明書に記載される。</p> <p>また、単位不足により進級、卒業が難しくなる学生が増えないよう、それぞれの学期中において、出席状況、課題提出状況、授業態度がおもわしくない学生や、学期ごとの成績が学年末の進級や卒業の条件を満たさない恐れがあると判断された学生に対しては、教員間で情報を共有し、場合によっては保護者へ連絡し、三者懇談を行うなどして状況の改善に努めている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページ  <a href="http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/">http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/</a></p>



<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定及び前段階としての修了認定については以下のように行っている。</p> <p>&lt;修了認定&gt;</p> <p>各学年の修了認定については、規定の出席時数を満たし、試験等の成績評価により所定の単位数を超えた単位を取得していること、学費が完納されていることを原則とする。各学年の修了時、1年間（1年次から2年次への進級、2年次から3年次への進級）で取得すべき単位数が不足した学生については認定会議で最終検討を行い、進級に問題の残る学生は必要に応じて保護者の方に来校していただき三者懇談を行う。</p> <p>&lt;卒業認定&gt;</p> <p>卒業試験は実施せず、各学年の修了を卒業の条件とする。卒業資格条件の査定は、教職員による認定会議により行われ、卒業資格条件を満たした者には卒業資格を認定する。卒業時には専門士の称号が付与される。卒業するために必要な単位数は、ファッション造形科とファッション流通科においては60単位以上、ファッションマスター科においては90単位以上となる。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページ <a href="http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/">http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋ファッション専門学校
設置者名	学校法人中西学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html">https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html">https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html</a>
財産目録	<a href="https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html">https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.nakanishi.ac.jp/data/business.html">https://www.nakanishi.ac.jp/data/business.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html">https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾・家政 専門課程	ファッションマスター科	服飾・家政 専門課程			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	90 単位	6単位	117 単位	13単位	時間	時間
			136 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		102人	0人	8人	21人	29人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾・家政 専門課程	ファッション造形科	服飾・家政 専門課程			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	60 単位	6単位	76単位	8単位	時間	時間
			90 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		13人	1人	8人	21人	29人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾・家政 専門課程	ファッション流通科	服飾・家政 専門課程			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	60 単位	10 単位	82 単位	25 単位	時間	時間
			117 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		94 人	0 人	8 人	21 人	29 人	

#### カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

##### （概要）

本校の教育目標に則り、学生の目指す職種に合わせたファッション関連の知識、技術の習得を基本とし、それぞれの在籍コースごとに実践的な理論と技術教育を行っている。その内容は毎年更新されるシラバスに記載され、本校 Web サイトにて公開している。

#### 成績評価の基準・方法

##### （概要）

成績は、試験（前期末、後期末）、平常成績（課題作品、実技の評価）、授業態度（授業課題提出状況など）を加味した、総合的な評価として、適正な評価に努めている。各教科の成績評価は、その方法と基準をシラバスで明示し、その記載された割合で合計、点数化し、0 から 100 点とする以下の 4 段階評価としている。

100～85 点=A、84～65 点=B、64～50 点=C、49～0 点=D

\*D は不認定となり単位を取得できない

#### 卒業・進級の認定基準

##### （概要）

卒業認定及び前段階としての修了認定については以下のように行っている。

##### <修了認定>

各学年の修了認定については、規定の出席時数を満たし、試験等の成績評価により所定の単位数を超えた単位を取得していること、学費が完納されていることを原則とする。各学年の修了時、1 年間（1 年次から 2 年次への進級、2 年次から 3 年次への進級）で取得すべき単位数が不足した学生については認定会議で最終検討を行い、進級に問題の残る学生は必要に応じて保護者の方に来校していただき三者懇談を行う。

##### <卒業認定>

卒業試験は実施せず、各学年の修了を卒業の条件とする。卒業資格条件の査定は、教職員による認定会議により行われ、卒業資格条件を満たした者には卒業資格を認定する。卒業時には専門士の称号が付与される。卒業するために必要な単位数は、ファッション造形科とファッション流通科においては 60 単位以上、ファッションマスター科においては 90 単位以上となる。

学修支援等
(概要) 担任制をとり、個々の能力、就職希望などに合った技術、知識の習得ができるようきめ細かく指導し就職につなげる。就職に際しては担任のほか、就職担当教員、教務主幹、校長が対応し、企業とのマッチングを考慮した指導を行っている。また、成績不良者に対しては補講を行うなどの対応策を取っている。

ファッションマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	19人 (82.6%)	4人 (17.4%)
(主な就職、業界等) ファッション業界及びアパレル業界の企画生産業務（デザイナー、パタンナー、ソーイングスタッフ他）			
(就職指導内容) 1年時より担任や就職担当者による就職対応授業や卒業生セミナー、個別面談などを行い就職に対する意識を高める。また、希望者にはインターンシップの斡旋を行っている。卒業学年では外部講師による実践的な面接練習、学校主催の企業説明会を行い、学生が実践的な経験を多く持てるようにしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) パターンメイキング技術検定、パーソナルカラリスト検定、フォーマルスペシャリスト検定準2級、日本漢字能力検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104人	14人	10.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的問題、病気療養のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 長期欠席者への対応として、担任、もしくは教務主幹、校長が、本人と面談及び保護者との面談に応じる。経済的な困窮が退学希望の原因と思われる場合は、学園独自の奨学金制度を紹介する。		

ファッション造形科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	2人 (50.0%)	2人 (50.0%)
<p>（主な就職、業界等） ファッション業界及びアパレル業界の企画生産業務（デザイナー、パタンナー、ソーイングスタッフ他）、販売業務</p>			
<p>（就職指導内容） 1年時より担任や就職担当者による就職対応授業や卒業生セミナー、個別面談などを行い就職に対する意識を高める。また、希望者にはインターンシップの斡旋を行っている。卒業学年では外部講師による実践的な面接練習、学校主催の企業説明会を行い、学生が実践的な経験を多く持てるようにしている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定、パーソナルカリスト検定、フォーマルスペシャリスト検定準2級、日本漢字能力検定</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.3%
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更のため</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 長期欠席者への対応として、担任、もしくは教務主幹、校長が、本人と面談及び保護者との面談に応じる。経済的な困窮が退学希望の原因と思われる場合は、学園独自の奨学金制度を紹介する。</p>		

ファッション流通科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
48人 (100%)	0人 (0%)	45人 (93.8%)	3人 (6.3%)
<p>（主な就職、業界等）                      ファッション業界及びアパレル業界の販売・流通促進業務（ファッションアドバイザー、バイヤー、スタイリスト、コーディネーター他）</p>			
<p>（就職指導内容）                      1年時より担任や就職担当者による就職対応授業や卒業生セミナー、個別面談などを行い就職に対する意識を高める。また、希望者にはインターンシップの斡旋を行っている。卒業学年では外部講師による実践的な面接練習、学校主催の企業説明会を行い、学生が実践的な経験を多く持てるようにしている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））                      ファッションビジネス能力検定、パーソナルカラー検定、ファッション販売能力検定、フォーマルスペシャリスト検定準2級、ケサランパサランメイクデュプロマ、小林豊子きもの学院きもの講師免許、国家資格商品装飾展示技能士、国家資格接客販売技能検定、リテールマーケティング（販売士）検定、日本漢字能力検定</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	7人	7.2%
<p>（中途退学の主な理由）                      進路変更、経済的問題、病気療養のため</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）                      長期欠席者への対応として、担任、もしくは教務主幹、校長が、本人と面談及び保護者との面談に応じる。経済的な困窮が退学希望の原因と思われる場合は、学園独自の奨学金制度を紹介する。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション マスター科	200,000 円	670,000 円	328,749 円	施設費 200,000 円 学外研修費 45,000 円 ボディ使用料 2,000 円 教科書代 81,749 円
ファッション 造形科	200,000 円	630,000 円	328,501 円	施設費 200,000 円 学外研修費 45,000 円 ボディ使用料 2,000 円 教科書代 81,501 円
ファッション 流通科	200,000 円	630,000 円	361,451 円 (スタイリスト コース) 314,912 円 (ファッション ビジネス コース)	施設費 200,000 円 学外研修費 45,000 円 ボディ使用料 500 円 教科書代 115,951 円 (スタイリストコース) 69,412 円 (ファッションビジネス コース)
修学支援 (任意記載事項)				
NSC 特別奨学生入試や服飾系科目履修者特別奨学生審査で一定以上の成績を収めた者にはそれぞれの成績に応じた奨学特典を設けている。また 2 親等以内の親族に中西学園グループの卒業生または在校生がいる者には入学金免除の特典がある。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/">http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 業界団体、国際交流関係者、学校関連業者、アパレル企業代表者、卒業生からなる学校関係者評価委員会を設置している。定期的に行われる委員会において、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、国際交流の評価項目についての意見交換をし、評価を受ける。  その結果は職員会議にて報告され検討されたのち、学校の運営やカリキュラムの改善などに生かすために校長の指示により個々の改善内容に合わせた担当者(教務主幹、専攻主任など)を決めて遂行される。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋帽子協同組合 理事長	2019. 4. 1～2021. 3. 31	業界団体理事
織研新聞社 業務部課長	2019. 4. 1～2021. 3. 31	業界企業社員
駐日タンザニア大使館中部地区商業 文化特任大使名誉代表	2019. 4. 1～2021. 3. 31	国際交流関係者
株式会社福文堂書店 代表取締役	2019. 4. 1～2021. 3. 31	学校関連業者
Dhal 代表	2019. 4. 1～2021. 3. 31	業界団体
旧職員	2019. 4. 1～2021. 3. 31	卒業生
非常勤講師	2019. 4. 1～2021. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/">http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/</a> ※公表物は2019年度1月17日現在の委員		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.fashion.nsc.ac.jp/>